

秋田県三種町におけるモデル事業の取組について

発出元 → 発出先

○R5年度より、下岩川地区で地域管理構想のモデル事業の取組を開始。農地・山林を中心に土地利用の現状把握と将来構想をデジタルマップ構築により推進中。

■ **対象地域**:秋田県三種町下岩川地区

■ **地区概要**:人口960人、高齢化率49.3%の中山間地域。

大区画農地(1ha程度)と小区画農地が併存し、周囲の森林には財産区が管理する共有林があるが、高齢化等を踏まえ、これらの将来に渡る管理手法について検討が必要。

■ **検討体制**

下岩川地域力推進委員会等の地元組織、三種町、持続可能な地域社会総合研究所(持続地域総研)、秋田県立大学

■ **取組の概要**

R4年度:デジタルマップ基礎情報を整備(農地、用水路、森林等)

R5.8~12月:土地管理の主体となる住民の意識向上や体制進化に向けたワークショップを開催。

(小・中学生による持続可能な未来像を創る「レゴワークショップ」、地区ぐるみの推進組織立上げ検討に関わるワークショップ3回)

R5.10月~:中心部の赤川地区において、農地の詳細情報(管理者年齢や後継者、水利状況)のデジタルマップ作成→来年度の地区全体の地域管理構想の基図として共有

R6.2月:「下岩川地域づくり協議会」設立(農水省支援施策(農村RMO)との連携)



レゴワークショップ(8月21日)



赤川地区農地マップの共有(12月3日)

地元天気図ワークショップを開催(三種町下岩川地区)

発出元 → 発出先

- 令和5年10月29日、「将来ビジョンワークショップ」と題して、地元住民が参画した地元天気図ワークショップを開催。
- 地域課題の洗い出しと解決の可能性を検討し、今後の地域管理について住民や行政が担う役割分担について話し合っていく流れをつくるきっかけづくり。

○ 地域の強みと弱点を天気図に見立て話し合う

強み: 高気圧マーク
 弱点: 低気圧マーク
 新しい風: 台風マーク



男性班と女性班に分かれて、地域の強み・弱点に天気図マークを貼り、理由をフセンに書き込む



完成した地元天気図について、各班の住民が発表

○ 完成した地元天気図

